躯 体 検 査 報 告 書

実 施 日	2012 年 11 月 08 日	
登 録 物 件 名	XXXX XXXX XXXX	Y1396703
事 業 者 名	株式会社 フォレストサイド	A0301406
事 業 者 立 会 者	XXXX XXXX	
報 告 者	XXXX XXXX	

総 合 判 定
適合

【凡例】「方法」欄 A：目視確認 B：計測確認 C：書類確認（設計図書含む）
「判定」欄 ○：適 ×：不適 ー：該当なし（登録設計図書に記載がない場合を含む） 保留：判定保留
※目視・計測可能な部位で抽出確認し、保険の適否を判定します。

1. 基礎・床下

No.	項 目	方 法	判 定
1-1	コンクリート打設面	A C	○
1-2	床下防湿措置 ■仕様：べた基礎	A C	○
【備考】			

2. 土台

No.	項 目	方 法	判 定
2-1	土台の基礎への緊結状況	A C	○
2-2	柱下の土台の設置（構造耐力上主要な部分である柱の下部に土台があるか） ※当該柱を基礎に緊結した場合又は平屋建ての建築物で足固めを使用した場合を除く	A C	○
【備考】			

3. 柱

No.	項 目	方 法	判 定
3-1	柱の小径	A B C	○
3-2	柱の位置	A B C	○
3-3	柱の欠込み（柱の断面欠損の有無及び欠損部の補強状況を確認）	A B C	○
【備考】			

4. 耐力壁（①共通）

No.	項 目	方 法	判 定
4-1	耐力壁の位置	A B C	○
【備考】			

5. 耐力壁（②筋かい耐力壁の場合）

No.	項　　目	方 法	判 定
5-1	端部金物の取り付け状況	ＡＢＣ	○
5-2	筋かいの材料寸法	ＡＢＣ	○
5-3	筋かいに欠込みはないか	ＡＢＣ	○
【備考】			

6. 耐力壁（③面材耐力壁の場合）

No.	項　　目	方 法	判 定
6-1	面材の種類と厚さ	ＡＢＣ	○
6-2	釘の種別、釘打ち間隔	ＡＢＣ	○
【備考】6-1. ノボパン			

7. 金物

No.	項　　目	方 法	判 定
7-1	柱頭柱脚金物の種類・位置	ＡＣ	○
【備考】			

8. 横架材

No.	項　　目	方 法	判 定
8-1	横架材同士 ■仕様：羽子板ボルト／短冊金物	ＡＣ	○
8-2	横架材の欠込み（中央部附近の下側に構造耐力上支障のある欠込みはないか）	ＡＣ	○
【備考】			

9. 床組

No.	項　　目	方 法	判 定
9-1	床火打ちばりの施工状況	ＡＣ	―
9-2	面材床施工状況（火打ちばり省略の部分）	ＡＢＣ	○
【備考】9-2. ネダノン			

10. 小屋組

No.	項　　目	方 法	判 定
10-1	垂木の接合方法 ■仕様：ひねり金物	ＡＣ	○
10-2	火打ちばりの施工状況	ＡＣ	○
10-3	振れ止め等の設置状況 ■仕様：設計者判断聴取り確認済	ＡＣ	○
【備考】			

11. 勾配屋根

No.	項　　目	方 法	判 定
11-1	屋根の防水施工状況 ■状況：検査時屋根仕上工事完了	ＡＣ	○
11-2	屋根の下ぶき材の壁面取合い部の立上げ ■状況：施工依頼済	ＡＢＣ	―
11-3	壁面と屋根（庇含む）のけらば、および、軒先との取合い部分の屋根下ぶき材の先張り ■状況：該当部位なし	ＡＣ	
11-4	軒先と壁面との取合い部の水返し(積雪地の金属屋根では雪割り) ■状況：該当部位なし	ＡＣ	
【備考】11-2. 2階北側出窓			

12. 笠木

No.	項　　目	方 法	判 定
12-1	笠木天端の防水措置（連続的に施工されているか） ■状況：施工前	ＡＣ	―
12-2	三面交点の防水措置（隙間なく施工されているか） ■状況：施工前	ＡＣ	―
【備考】			

13. 防水屋根

No.	項　　目	方 法	判 定
13-1	防水屋根の防水措置 ■状況：施工前	ＡＢＣ	―
【備考】			

14. 外壁防水

No.	項　　目	方 法	判 定
14-1	防水紙の重ね合わせ ■状況：施工前	ＡＢＣ	―
14-2	開口部の防水措置（防水テープを用いているか） ■状況：施工前	ＡＣ	―
【備考】			

15. その他

No.	項　　目	方 法	判 定
15-1	その他事項	ＡＢＣ	―
【備考】			

特記事項

全景写真	備考

基礎立上り状況	備考

Y1396703

土台の基礎への緊結状況	備考

柱脚金物	備考

Y1396703

柱頭金物	備考

筋かい端部金物	備考

Y1396703

横架材同士の接合状況	備考

小屋組の施工状況	備考

Y1396703

垂木の金物	備考

Y1396703